



## 【財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構とは…】

平成9年5月、アイヌ文化の振興等を行い、アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重される社会の実現と、我が国の文化の多様な発展を図ることを目的とする「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」が制定され、同年7月から施行されました。

当財団は、平成9年7月、北海道札幌市内に事務所を、同年9月には東京都内にアイヌ文化交流センターを開設し、この法律に基づき、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統やアイヌ文化に関する知識の普及・啓発などの事業を実施しています。

平成24年度

1月▶3月(Vol.4)

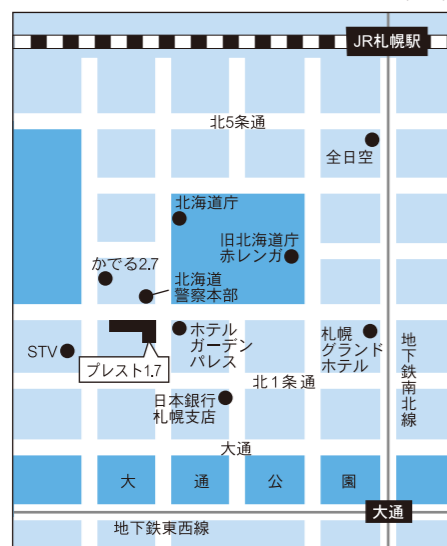
# アイヌ語 ラジオ講座テキスト

講師 押野 朱美・押野 里架

Vol.4

### 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7(5階)



The Foundation for Research and Promotion of Ainu Culture (FRPAC)  
Presto 1.7 (5F), Kita 1, Nishi 7, Chuo-ku, Sapporo 060-0001 Japan  
TEL.(011)271-4171 FAX.(011)271-4181  
ホームページ <http://www.frpac.or.jp/>  
e-mail : [ainu@frpac.or.jp](mailto:ainu@frpac.or.jp)

### アイヌ文化交流センター

〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目4番13号 アーバンスクエア八重洲(3階)



Ainu Culture Center, Tokyo  
Urban-Square-Yaesu (3F), 4-13, Yaesu2, Chuo-ku, Tokyo 104-0028 Japan  
TEL.(03)3245-9831 FAX.(03)3510-2155  
e-mail : [acc-tokyo@frpac.or.jp](mailto:acc-tokyo@frpac.or.jp)

### STVラジオで放送中

- ◆本放送 毎週日曜日 あさ 7:00～7:15
- ◇再放送 毎週土曜日 よる 23:00～23:15  
(平成24年10月6日より放送時間が変わりました)

財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

平成24年度

1月▶3月(Vol.4)

# アイヌ語 ラジオ講座テキスト

講師 押野 朱美・押野 里架

Vol.4



放送内容はインターネットでも配信しています。

STVホームページ <http://www.stv.ne.jp/radio/ainugo/index.html>

## 講師のプロフィール



里架さん

朱美さん

おし の あけ み おし の り か  
押野 朱美(姉) 押野 里架(妹)

むかわ町出身の双子姉妹。幼少期から祖母や母の影響で、アイヌの唄や踊りに触れる。中学生の時、カナダ先住民との交流経験によりアイヌ民族への関心が高まり、アイヌ語・アイヌ文化を本格的に学び始める。

アイヌ語指導者育成事業 第5期修了生。

苫小牧駒澤大学国際文化学部国際文化学科卒業。

白老町役場企画振興部企画政策課アイヌ施策推進室学芸員(里架さん)。

### 協力者の紹介

#### ■支援研究者

さ と う と も み  
佐藤 知己

北海道大学大学院文学研究科教授。同アイヌ・先住民研究センター兼務教員。研究分野は言語学・アイヌ語・北方言語。研究内容はアイヌ語を中心とする言語の記述的、文献的研究。

主著に、『アイヌ語文法の基礎』(大学書林, 2008年)

#### ■文化指導

よ し む ら ふ ゆ こ  
吉村 冬子

むかわ町在住。両講師の祖母。日常生活の中でアイヌ語を身につける。昭和59年鶴川アイヌ文化伝承保存会の設立当初から会員として古式舞踊・儀礼・口承文芸など伝承保存活動を行う。

平成6年から鶴川アイヌ語教室助手、講師を務める。

平成10年アイヌ語弁論大会最優秀賞受賞。

その他、多数の講演、執筆活動を実施。

### 【このテキストのアイヌ語と表記の仕方について】

現在のところアイヌ語には共通語というものはなく、それぞれの地域でそれぞれの方言が学ばれています。そのため、このテキストでは担当講師の方言(鶴川の方言)をベースにしています。

## アイヌ語ラジオ講座のスケジュール表

| 月  | 日   | LESSON | テ - マ                             | ページ |
|----|-----|--------|-----------------------------------|-----|
| 1月 | 6日  | 41     | 疑問詞=「何」、「誰」、「どう」、「どこ」の言い方         | 4   |
|    | 13日 | 42     | 名詞化辞—シリ siri、ハウエ hawe、ルウエ ruweの用法 | 6   |
|    | 20日 | 43     | ヤイサマ①(即興叙情歌)                      | 8   |
|    | 27日 | 44     | 動詞の単数形と複数形(1)                     | 10  |
| 2月 | 3日  | 45     | 動詞の単数形と複数形(2)                     | 12  |
|    | 10日 | 46     | ヤイサマ②(即興叙情歌)                      | 14  |
|    | 17日 | 47     | 不定人称—「一般に人が」を表す表現                 | 16  |
|    | 24日 | 48     | 「~ている」の表現                         | 18  |
| 3月 | 3日  | 49     | ヤイサマ③(即興叙情歌)                      | 20  |
|    | 10日 | 50     | 単語の構成(1)—名詞の構造                    | 22  |
|    | 17日 | 51     | 単語の構成(2)—動詞の構造                    | 24  |
|    | 24日 | 52     | 雅語の文法—口承文芸の言語                     | 26  |
|    | 31日 | 53     | ヤイサマ④(即興叙情歌)                      | 28  |

例文

(1) タンペ ヘマンタ アン?  
tanpe hemanta an?  
これ 何 ある 「これは何ですか。」

(2) タンペ アナクネ ペカンペ ネ ワ。  
tanpe anakne pekanpe ne wa.  
これ は ヒシの実 である よ 「これはヒシの実だよ。」

(3) エアニ フンナ エアン?  
eani hunna e=an?  
お前 誰 お前がある 「お前は誰だ。」

(4) アコロ イタク アニ マカナク アイェ コロ ピリカ?  
a=kor itak ani makanak a=ye kor pirka?  
人が持つ ことば で どう 人が言う ば いい 「アイヌ語でどう言えばいい？」

(5) トアンタ インネ ウタラ オカ コロカ ヒナクン パイエ シリ ネ ヤッカ ケランペウテク。  
toanta inne utar oka korka, hinak un paye siri ne yakka k=eranpewtek.  
あそこに たくさんの 人々 いる けれど どこへ 行く ところ である かも 私が知らない  
「あそこにたくさんの人々がいるけれどどこへ行くとところなのか私は知らない。」

(6) アエブ ネ ヤクン ネブ ネ ヤッカ クコン ルスイ。  
aep ne yakun nep ne yakka ku=kon rusuy.  
食物 である ならば 何 である ても 私が持ち たい  
「食物であるならば何でも私はほしい。」

単語

| アイヌ語    |            | 日本語訳               |
|---------|------------|--------------------|
| ア       | a=         | (一般に)人が、人は         |
| アエブ     | aep        | 食物                 |
| アナクネ    | anakne     | ～は                 |
| アニ      | ani        | ～で                 |
| アン      | an         | ある、いる(単数形)         |
| イエ      | ye         | 言う                 |
| イタク     | itak       | ことば                |
| インネ     | inne       | 多い                 |
| ウタラ     | utar       | 人々                 |
| ウン      | un         | ～にいる、～の            |
| エ       | e=         | お前が、お前は            |
| エアニ     | eani       | お前                 |
| エランペウテク | eranpewtek | 知らない               |
| オカ      | oka        | ある、いる(複数形)         |
| ク       | k=         | 私が、私は              |
| ク       | ku=        | 私が、私は              |
| コロ      | kor        | 持つ、～の              |
| コン      | kon        | 持つ(rの前での kor の変化形) |

| アイヌ語 |         | 日本語訳    | 備考 |
|------|---------|---------|----|
| シリ   | siri    | 様子、ところ  |    |
| タンペ  | tanpe   | これ      |    |
| トアンタ | toanta  | あそこ     |    |
| ネ    | ne      | ～である    |    |
| パイェ  | paye    | 行く(複数形) |    |
| ヒナク  | hinak   | どこ      |    |
| ピリカ  | pirka   | 良い      |    |
| プ    | p       | もの      |    |
| フンナ  | hunna   | 誰       |    |
| ペカンペ | pekanpe | ヒシの実    |    |
| ヘマンタ | hemanta | 何       |    |
| マカナク | makanak | どう      |    |
| ヤクン  | yakun   | ～れば     |    |
| ヤッカ  | yakka   | ～ても     |    |
| ルスイ  | rusuy   | ～たい     |    |
| ワ    | wa      | ～よ      |    |

解説

「何」、「誰」、「どう」、「どこ」のような疑問の意味を表すことばを「疑問詞」と言います。疑問詞には非常に多くのものがありますが、鶴川方言については細かな点になるとよくわかっていないところも少なくありません。ここでは基本的なものだけを挙げてあります。

例文(1)の、「タンペ ヘマンタ アン tanpe hemanta an? これは何ですか?」はとても基本的な重要表現ですが、文法的には説明が難しい文です。「AはBである」と言いたい時、通常の場合ですと、「～である」には「ネ ne」という断定を意味する動詞が使われます。たとえば、「タンペ アナクネ ポロ チェブ ネ ワ tanpe anakne poro cep ne wa これは大きな魚だよ」のようになります。これを基に考えると、「これは何ですか?」と言う場合にも「ネ ne ～である」を使って、「タンペ ヘマンタ ネ? tanpe hemanta ne?」と言ってもよさそうなものですが、実際には「タンペ ヘマンタ アン? tanpe hemanta an?」となります。このような場合に、どうして「ネ ne」ではなく、「アン an ある、いる」という単語が使われるのか、理由はあまりよくわかっていません。なお、答えの文では、「ポロ チェブ ネ poro cep ne 大きい魚だ」のように断定の「ネ ne ～である」が用いられます。このことから、「ネ ne ～である」という単語は、何かを断定する働きを持っているのに、そもそも内容が不明である「何」のような疑問詞に「ネ ne ～である」を結びつけて「何である」と述べても、結局のところ、何も断定したことになっていないわけで、断定という働きと矛盾するから、という説明がひとまず考えられます。しかし、基礎の段階では、難しい理論的な説明はひとまず保留にしておいて、一種の熟語表現として、「タンペ ヘマンタ アン tanpe hemanta an これは何ですか?」という形全体をそのまま覚えてしまうのが良いと思います。

ちなみに、例文(6)の「ネブ nep」も「何」という意味の疑問詞です。この形は、疑問詞は疑問詞でも、「何か」、「何でも」のような「不定」の表現を作る時に用いられます。鶴川方言についてはよくわかっていない点が多いので、簡単に触れておくにとどめます。

例題

四角に入るものは、「ネ ne ～である」、「アン an ある」のどちらであるか答えなさい。

1) タンペ ヘマンタ  ?  
tanpe hemanta  ? 「これは何ですか?」

今日のポイント



「これは何だ?」は「タンペ ヘマンタ アン? tanpe hemanta an?」という決まり文句で表される。



例文

(1) ヘマンタ エオ ワ ペカンペ エカラ シリ?  
 hemanta e=o wa pekanpe e=kar siri?  
 何 お前が乗る て ヒシの実 お前が採る 様子  
 「お前は何に乗ってヒシの実を採るところなの？」

(2) マカナク アカラ ワ アエ コロ ケラアン ハウエ カ ケランペウテック  
 makanak a=kar wa a=e kor kéraan hawe ka k=eranpewtek.  
 どう 人が作る て 人が食べると おいしい 話 も 私がわからない  
 「どうやって料理して食べたらおいしいのか私はわからない。」

(3) オッカヨポ ムカワ ウン クル エネ ルウェ?  
 okayopopo mukawa un kur e=ne ruwe?  
 若者 鷓川 の 人 お前がである 事  
 「おにいさん、お前さんは鷓川の人なの？」

単語

| アイヌ語     |            | 日本語訳                       |
|----------|------------|----------------------------|
| ア        | a=         | (不定の)人が、人は                 |
| ウン       | un         | ～にいる、～の                    |
| エ        | e=         | お前が、お前は                    |
| エ        | e          | 食べる                        |
| エランペウテック | eranpewtek | 知らない                       |
| オ        | o          | 乗る                         |
| オッカヨポ    | okayopopo  | 若者                         |
| カ        | ka         | ～も(否定の助詞)                  |
| カラ       | kar        | 作る、(もいで)採る                 |
| ク        | k=         | 私が、私は                      |
| クル       | kur        | 人                          |
| ケラアン     | kéraan     | おいしい                       |
| コロ       | kor        | ～と                         |
| シリ       | siri       | 有様、様子、(今まさに～する)ところ、～の?(疑問) |
| ネ        | ne         | ～である                       |
| ハウエ      | hawe       | 声、話、～の?(疑問)                |
| ペカンペ     | pekanpe    | ヒシの実                       |
| ヘマンタ     | hemanta    | 何                          |
| マカナク     | makanak    | どう                         |
| ムカワ      | mukawa     | 鷓川                         |
| ルウェ      | ruwe       | 事、～の?(疑問)                  |
| ワ        | wa         | ～て                         |

解説

アイヌ語で非常によく使われる単語の中に、シリ siri、ハウエ hawe、ルウェ ruweのようなものがあります。これらはそれぞれ、シリ siri「～の様子」、ハウエ hawe「～の声」、ルウェ ruwe「～の足跡、道」のような具体的な意味をもともと持っていますが、元の意味を大部分失ってしまっており、文法的な働きに特化してしまっている場合も少なくありません。

例えば、例文(2)では、ハウエ hawe は、「どうやって食べたらおいしいか、ということ」のように、前の文全体を名詞化してしまう働きをしています。このように、文全体を名詞化してしまう働きを持った単語を「名詞化辞」と言います。日本語の「アイヌ語がよくできるという事」の「事」と良く似た働きをします。しかし、日本語では同じようにどれも「事」と訳すことができても、アイヌ語のシリ siri、ハウエ hawe、ルウェ ruweのどれをいつ使えば良いのかは大変難しく、よくわかっていない点も多いのです。だいたいのところでは、シリ siri は「事」は「事」でも「目で見ている事」、ハウエ hawe は「誰かの発言で聞いた事」、ルウェ ruwe は「自分の主観で判断した事」のようなニュアンスを表します。

例えば、例文(1)は、今、現に、目の前で、相手が、長靴をはいてライフジャケットを来て、これから沼へヒシの実を今まさに採りに行こうとしていることが目で見えて明らかだ、というような状況で用いられています。これに対して、例文(3)の「鷓川の人であるかどうか」という事は、普通は目で見えてわかるものではなくて、自分の頭であれこれ考えて判断する「事」なので、ルウェ ruwe が使われていると考えられます。ちなみに、これらの単語を文末に付けると、丁寧な疑問を表すことができます。日本語の「行く?」に対する「行くの?」のような言い方に当たります。その場合、疑問詞を使った疑問文ではさらに「アン an ある」が付けられるのが普通です(なお、例文(1)ではヘマンタ エオ ワ ペカンペ エカラ シリ アン? hemanta e=o wa pekanpe e=kar siri an?)ではなく、疑問詞疑問文なのにシリ siri の後にアン an「ある」が付いていませんが、ここでは話し手が言ったままの形をあげておきます)。

例題

適切な名詞化辞を空白に入れなさい。

1) ヘマンタ エオ ワ ペカンペ エカラ  ?  
 hemanta e=o wa pekanpe e=kar  ?  
 何 お前が乗る て ヒシの実 お前が採る 様子  
 「お前は何に乗ってヒシの実を採るところなの？」

2) オッカヨポ ムカワ ウン クル エネ  ?  
 okayopopo mukawa un kur e=ne  ?  
 若者 鷓川 の 人 お前がである 事  
 「おにいさん、お前さんは鷓川の人なの？」

**今日のポイント**

**名詞化辞の意味と用法**

|        | 目の前で進行中        | 聞いた話            | 頭で判断            |
|--------|----------------|-----------------|-----------------|
| 肯定文    | シリ ネ siri ne.  | ハウエ ネ hawe ne.  | ルウェ ネ ruwe ne.  |
| 普通の疑問文 | シリ siri?       | ハウエ hawe?       | ルウェ ruwe?       |
| 疑問詞疑問文 | シリ アン siri an? | ハウエ アン hawe an? | ルウェ アン ruwe an? |

## 例文

ヤイサマネナ

yaysamanena

(お囃子)

ヤイサマネナ

yaysamanena

(お囃子)

ホレンナ ホレ ホレンナ ホレ

horena hore horena hore

(お囃子)

クヤイヌ キ コロ

ku=yaynu ki kor

私は 考える する

私は考えながら

セコロ ヘ ク イエ

sekor he ku=ye

話す か 私は言う

これしか言えない

ヤイサマネナ ホレンナ ホレ

yaysamanena horena hore

(お囃子)

カムイ カ タブネ モシリ カン ルウエ

kaumuy ka tapne mosir kan ruwe

神 も このように 大地 作る 事

神もこのように大地をお作りになったことは

ウトウル コツネ ウトウル タナシ

uturu kotne uturu tanas

間 くぼみ 間 突き出る

ところどころくぼんだり、ところどころ突き出たりしている

## 単語

| アイヌ語 |       | 日本語訳                             |
|------|-------|----------------------------------|
| アン   | an    | ある                               |
| イエ   | ye    | ～を言う                             |
| ウトウル | uturu | ～の間                              |
| カ    | ka    | ～も                               |
| カムイ  | kamuy | 神様                               |
| カン   | kan   | 作る(rの前でのカ <sub>3</sub> kar の変化形) |
| キ    | ki    | ～する                              |
| ク    | ku=   | 私                                |
| コツネ  | kotne | くぼみ                              |
| コロ   | kor   | ～しながら                            |
| セコロ  | sékor | そのように                            |
| タナシ  | tanas | 突き出ている                           |
| タブネ  | tapne | このように                            |
| ヘ    | he    | ～か                               |
| モシリ  | mosir | 大地                               |
| ヤイヌ  | yaynu | 考える                              |
| ルウエ  | ruwe  | 事                                |

## MEMO

## アイヌ語⑭ ウポボ

シントコという蓋の周りに座り、手で蓋を叩きながら唄うものです。鶴川でずっと昔から伝わっている唄です。この唄が始まると「さあ、これから余興が始まるよ」という合図代わりで、たくさんの人が集まってくるそうです。

例文

(1) タネ エアニ ヘマンタ エカラ コロ エアン シリ?  
 tane eani hemanta e=kar kor e=an siri?  
 今 お前 何 お前がする て お前がいる ところ

「今、お前は何をしているところなの？」

(2) テクンベ クカラ コロ カン ワ  
 tekunpe ku=kar kor k=an wa.  
 手甲 私が作る て 私がいる よ 「私は手甲を作っているよ。」

(3) タンパ アナクネ シリポプケ クス  
 tanpa anakne sirpopke kusu  
 今年 は 暖かい ので

ムシ ポロンノ オカ シリ。  
 mus poronno oka siri.  
 ハエ たくさん いる 有様

「今年は暖かいのでハエがたくさんいるなあ。」

単語

| アイヌ語  | 日本語訳     | 備考            |
|-------|----------|---------------|
| アナクネ  | anakne   | ～は            |
| アン    | an       | ある、いる(単数形)    |
| エ     | e=       | お前が、お前は       |
| エアニ   | eani     | お前            |
| オカ    | oka      | ある、いる(複数形)    |
| カラ    | kar      | 作る、する         |
| ク     | k=       | 私が、私は         |
| ク     | ku=      | 私が、私は         |
| クス    | kusu     | ～ので           |
| コロ    | kor      | ～て            |
| シリ    | siri     | 有様、～するところ、～の？ |
| シリポプケ | sirpopke | 暖かい           |
| タネ    | tane     | 今             |
| タンパ   | tanpa    | 今年            |
| テクンベ  | tekunpe  | 手甲            |
| ヘマンタ  | hemanta  | 何             |
| ポロンノ  | poronno  | たくさん          |
| ムシ    | mus      | ハエ            |
| ワ     | wa       | ～て            |

解説

例文(2)と例文(3)を見ると、同じ「いる」でも、例文(2)では「アン an」という形なのに、例文(3)では「オカ oka」となっていることがわかります。この違いは、例文(2)では「いる」のは「私」で、単数なのに対し、例文(3)では「たくさん」と言っていることからわかるように「ハエ」は一匹ではなく、複数です。このように、アイヌ語の動詞の中には、主語が単数か複数かで形が変わるものがあります。しかも、「アン an」と「オカ oka」のように、全く形の類似がない、例外的なものもいくつかあるので、それらは覚えるのははじめのうちは少し努力が必要です。基本的な意味の動詞であることが多いので、何度も出てきますから、少しずつ、根気良く覚えましょう。ヒントは、「ある場所における存在、ある場所への移動」のような意味を表す動詞には単数形と複数形の区別のあるものが多いということです。これに対して、「カル kar 作る」のような動詞にはこのような単数形、複数形の区別は普通はありません。

例文(1)は疑問詞疑問文ですが、文末がシリ siri で終わっていて、アン an が付いていません(レッスン42参照)が、話し手が言ったそのままの形をあげてあります。

例文(3)も名詞化辞(レッスン42参照)の「シリ siri」で終わっていますが、これはこれまで説明してきたような疑問文の意味ではありません。ここでは「たいへん～だなあ」という「感嘆、感動」の意味を表しています。このように、文末に名詞化辞を使って感嘆文を作ることができます。なお、疑問詞疑問文の場合と同じように、名詞化辞の後にさらに「アン an」を付けることもできるのですが、ここでは話し手が言ったままの形をあげてあります。感嘆文にどうして疑問文の時と同じように名詞化辞が使われるのかは難しい問題ですが、日本語にも似た言い方があることを考えるとわかりやすいと思います。日本語でも「なんておいしいの!!」とか、「元気でいたか!!」のように疑問文の形で感動を表す言い方があります。それと少し似ているかもしれません。

例題

空白にそれぞれ適切な言葉を入れなさい。

ムシ シネブ 。  
 mus sinep 。  
 ハエ 一匹  いる

ムシ ポロンノ 。  
 mus poronno 。  
 ハエ たくさん  いる

今日のポイント



- 1) 存在や移動の意味の動詞は単数形、複数形の区別がある。
- 2) 「ある」の単数形はアン an、複数形はオカ oka という不規則な形になる。



# 動詞の単数形と複数形(2)

(1) カニ アナクネ クルマ コ ワ カラパ シリ ネ ワ。  
 káni anakne kuruma k=o wa k=arpa siri ne wa  
 私 は 車 私が乗る て 私が行く 有様 である よ  
 「私は車に乗って行くところだよ。」

(2) サツポロ ウン パイエアン ロ。  
 Satporo un paye=an ro.  
 札幌 へ 私たちが行く よう  
 「私たちは札幌へ行こう。」

(3) カニ アナクネ シオミ コタン オロ ワ ケク ルウェ ネ ナ。  
 káni anakne Siomi kotan or wa k=ek ruwe ne na.  
 私 は 汐見 村 ところ から 私が来る 事 である よ  
 「私は汐見村から来たのですよ。」

(4) ヒナク ワ エチアラキ シリ アン？  
 hinak wa eci=arki siri an?  
 どこ から お前たちが来る 有様 ある 「お前たちはどこから来たところなの？」

(5) カムイチェブ トゥブ ネ クトゥイエ。  
 kamuycep tup ne ku=tuye.  
 サケ 二つ に 私が切る  
 「私はサケを二つに切った。」

(6) トアント カムイチェブ アン ナ。 トウイパトウイパ ワ オハウ オロ オマレ ヤン。  
 toant a kamuycep an na. tuypatuyupa wa ohaw or omare yan.  
 あそこに サケ ある よ 細かく切る て 汁 中 入れる なさい

ヤクン ケラアン ナ。  
 yakun kéraan na.  
 そうすれば おいしい よ 「あそこにサケがあるよ。細かく切って汁の中に入れなさい。そうすればおいしいよ。」

## 単語

| アイヌ語        | 日本語訳        | アイヌ語                 | 日本語訳    |
|-------------|-------------|----------------------|---------|
| アナクネ anakne | ～は          | カムイチェブ kamuycep      | サケ      |
| アラキ arki    | 来る(複数形)     | ク k=                 | 私が、私は   |
| アラパ arpa    | 行く(単数形)     | ク ku=                | 私が、私は   |
| アン =an      | 私たちが、私たちは   | クルマ kuruma           | 車(日本語)  |
| アン an       | ある、いる(単数)   | ケラアン kéraan          | おいしい    |
| ウン un       | ～へ          | コタン kotan            | 村       |
| エク ek       | 来る          | サツポロ Satporo         | 札幌      |
| エチ eci=     | お前たちが、お前たちは | シオミ Siomi            | 汐見(地名)  |
| オハウ ohaw    | 汁           | シリ siri              | 有様、ところ  |
| オマレ omare   | 入れる         | トアント toanta          | あそこに    |
| オロ or       | ところ、中       | トゥイエ tuye            | 切る(単数形) |
| カニ káni     | 私           | トゥイパトウイパ tuypatuyupa | 切る(複数形) |

| アイヌ語      | 日本語訳      | アイヌ語     | 日本語訳 |
|-----------|-----------|----------|------|
| トゥブ tup   | 二         | ヤン yan   | ～なさい |
| ナ na      | ～よ        | ルウェ ruwe | 事、～の |
| ネ ne      | ～である      | ロ ro     | ～よう  |
| ネ ne      | ～に        | ワ wa     | ～から  |
| パイェ paye  | 行く(複数形)   | ワ wa     | ～て   |
| ヒナク hinak | どこ        | ワ wa     | ～よ   |
| ヤクン yakun | ～れば、そうすれば |          |      |

## 解説

前のレッスンで既に説明しましたが、移動を表す動詞にも単複の区別があります。例文(1)のアラパ arpaは「行く」の単数形ですが、例文(2)のパイェ paye は複数形です。同じく「行く」なのに、単数形と複数形ではまるで形が違う、ということに注意して下さい。「行く」が不規則ならば、「来る」も不規則だということが推測できますが、例文(3)、(4)を見ればそれが正しいことがわかります。エク ek は「来る」の単数形ですが、複数形はアラキ arki となって、やはり不規則です。いずれも基本的な意味の動詞ですので覚えて下さい。

以上は、目的語を取らない自動詞の単数形、複数形の説明でしたが、実は他動詞の中にも単数形と複数形の区別を持つものがあります。例文(5)のトゥイエ tuye は「切る」という意味ですが、実は単数形です。これに対して例文(6)のトゥイパトウイパ tuypatuyupa は、単数形 tuye の複数形 tuypa が二回繰り返されてきた単語です。このように、同じ形を繰り返してできた動詞はアイヌ語には非常に多いのですが、このような繰り返しがどういう意味を表すのかはまだよくわかっていない点が多いのです。ここではひとまず、tuypatuyupa は「徹底的に細かく刻む」という意味を表す、と解釈しておきます。さて、本題に戻って、単数形トゥイエ tuye 「切る」と複数形トゥイパ tuypa「切る」とでは、どう意味が違うのでしょうか。例文(5)では一回切る、という動作です。これに対して、例文(6)は「切る」という動作が複数回行われていることがわかります。このような場合には複数形が使われるわけです。ただし、これは基本的なケースの説明で、他動詞の複数形の実際の事例にはこのような説明が必ずしもきれいに当てはまらないものも多いのです。ここでは基本的な用法を心得るにとどめて、詳しくはさらに上級の段階で勉強して下さい。なお、自動詞の場合、単数形、複数形の区別は、存在や移動を意味する動詞に主に現れましたが、他動詞の単数形、複数形の区別は、動作の対象に物理的な変化がはっきり表れるような動作を表す動詞によく見られます。ここで取り上げた「切る」も、対象に物理的な変化が現れる動詞と言えます。

また、単数形と複数形である程度形の対応が見られるものがあります。トゥイ tuy は「切れる」(自動詞、単複の区別なし)、トゥイエ tuy-e は「切る」(他動詞単数形)、トゥイパ tuy-pa「切る」(他動詞複数形)のように、お互いにある程度の形と意味の相関関係を示すものもありますが、不規則な場合も少なくなく、少しずつ覚えて行く必要があります。

## 例題

対応する複数形を答えなさい。

アラパ arpa 「行く」  
 エク ek 「来る」  
 トウイエ tuye 「切る」

**今日のポイント**

- ・自動詞の複数形は主語が複数であることを表す。
- ・他動詞の複数形は対象に複数回動作が加えられることを表す。



## 例文

クツカ エンコレ クツカ エンコレ  
 kupka en=kore kupka en=kore  
 鋤 私に与える

鋤を下さい。鋤を下さい。

キ ワ ネ ヤクネ トアン ヌプリ  
 ki wa ne yakne toan nupuri  
 する ~て だ あの 山

そうしたならば、あの山を

クトクパトクパ

ku=tokpatokpa  
 私何回も何回も崩す

私は崩して崩して

クタウキタウキ

ku=tawkitawki  
 私何回も何回も刃物で切りつける

私は何回も何回も切りつける

キ ワ ネ ヤクネ ヌプリ カ タ  
 ki wa ne yakne nupuri ka ta  
 する て だ 山 上 で

そうしたならば山の上で

クヤイヌ チキ

ku=yaynu ciki  
 私が思う したら

私は思うのに

ヤイサマネナ ホレンナ ホレ  
 yaysamanena horeнна hore  
 (お囃子)

## 単語

| アイヌ語   |            | 日本語訳     | 備考 |
|--------|------------|----------|----|
| エン     | en=        | 私に       |    |
| カ      | ka         | 上        |    |
| キ      | ki         | ~する      |    |
| ク      | ku=        | 私        |    |
| クツカ    | kupka      | 鋤        |    |
| コレ     | kore       | 与える      |    |
| タ      | ta         | ~で       |    |
| タウキタウキ | tawkitawki | 何度も切りつける |    |
| チキ     | ciki       | ~したら     |    |
| トアン    | toan       | あの       |    |
| トクパトクパ | tokpatokpa | 何度も崩す    |    |
| ヌプリ    | nupuri     | 山        |    |
| ネ      | ne         | ~だ・~よ    |    |
| ヤイヌ    | yaynu      | 思う       |    |
| ヤクネ    | yakne      | ~ならば     |    |
| ワ      | wa         | ~して      |    |

## MEMO

## アイヌ語⑮ オマンルパル

あの世の入り口と言われるところが、鶴川にもあります。  
 そこで通りかかった人は、「亡くなった人がいた」ということを話していました。  
 おばあちゃんも、通りかかって見たことがあるそうです。

例文

(1) スサム アナクネ アサツケ ワ アエ コロ ポ ケラアン。  
 susam anakne a=satke wa a=e kor po kéraan.  
 シシャモ は 人が干す て 人が食べる と なお おいしい  
**「シシャモは干して食べるとなおおいしい。」**

(2) チフ アオ ワ ト オツ タ  
 cip a=o wa to ot ta.  
 舟 人が乗る て 沼 ところに  
 ぺカンペ アカラ ペ ネ ワ。  
 pekanpe a=kar pe ne wa.  
 ヒシの実 人が採る もの である よ **「ヒシの実は沼で舟に乗って採るものだよ。」**

(3) アコロ イタク アニ マカナク アイェ コロ ピリカ？  
 a=kor itak ani makanak a=ye kor pirka?  
 アイヌ語 で どう 人が言う と 良い **「アイヌ語でどう言えばいい？」**

単語

| アイヌ語 |         | 日本語訳                               |
|------|---------|------------------------------------|
| ア    | a=      | (一般に)人が、人は                         |
| アナクネ | anakne  | ～は                                 |
| アニ   | ani     | ～で                                 |
| イタク  | itak    | 言葉                                 |
| エ    | e=      | お前が、お前は                            |
| オ    | o       | 乗る                                 |
| オツ   | ot      | ところ、中(オル or がタ ta の前でオツ ot となったもの) |
| カラ   | kar     | 作る、採る                              |
| ケラアン | kéraan  | おいしい                               |
| コロ   | kor     | ～と、～れば                             |
| サツケ  | satke   | 干す                                 |
| スサム  | susam   | シシャモ                               |
| タ    | ta      | ～に、～で                              |
| チフ   | cip     | 舟                                  |
| ト    | to      | 沼                                  |
| ネ    | ne      | ～である                               |
| ピリカ  | pirka   | よい                                 |
| ペ    | pe      | ～もの                                |
| ペカンペ | pekanpe | ヒシの実                               |

| アイヌ語 |         | 日本語訳 |
|------|---------|------|
| ポ    | po      | なおさら |
| マカナク | makanak | どう   |
| イエ   | ye      | 言う   |
| ワ    | wa      | ～から  |
| ワ    | wa      | ～て   |

解説

ア a=「私たち(包括的、他動詞)」、アン =an「私たち(包括的、自動詞)」という形式については既に学びました。これらの形は、聞き手を含む「私たち」、「私たちみんな」という意味を表していますが、「私たち」という一人称の意味が希薄になって、「みんなが」、「一般に人が」という意味になることがあります。

たとえば、例文(1)では、「私たちが干して食べるとなおおいしい」と訳しても間違いではありませんが、「誰にとってもそうだ」というふうに解釈したほうがよい例です。例文(2)は、「ペ ネ pe ne」(「一般に人がそうであるものだ」という形式が付いていますので、「一般に人が～する」という意味であることがよりはっきりわかる例と言えます。例文(3)も、「私たちの言葉でどのように私たちが言えば良いの?」のように訳すこともできなくはありませんが、むしろ、「一般に人が」という意味であると解釈したほうが良い例と言えます。


このような、「人間一般」を意味する形式を、アイヌ語の文法では「不定人称」と呼びます。不定人称の場合には、誰がその行為を行うのかを特に訳さないほうが良いこともあります。たとえば、例文(1)は「シシャモは干して食べるとなおおいしい」のように、主語を訳さない方がより自然かもしれません(なお、自動詞につく「アン =an」は適切な例がいまのところないため、例文として挙げていません)。

例題

次の文の誤りを修正して正しいアイヌ語文に直さない。

アカロ イタク アニ マカナク イェ コロ ピリカ？  
 a=kor itak ani makanak ye kor pirka?  
 アイヌ語 で どう 言う と 良い **「アイヌ語でどう言えばいい？」**

**今日のポイント**



- ・「一般に人が、みんなが」という意味は不定人称ア a=、アン =an で表される。
- ・不定人称は特に訳さない方が自然な日本語になることもある。

**アイヌアザ** ⑩ 山でのルール

おばあちゃんと、山菜を採りに行くときは、入る前に、山の神様にお祈りをします。おばあちゃんの場合は、タバコとお水をお供えます。

そして山菜を採るときには、根こそぎ採るのではなく、根は残しておき茎の中間くらいから採ります。また次の年もたくさん採れるようにするのです。

例文

(1) ヘマンタ エカラ コロ エアン シリ アン?

hemanta e=kar kor e=an siri an?  
何 お前がする て お前がいる 有様 ある

「お前は何をしているところなの？」

(2) カニ アナクネ タネ クカエカ コロ カン ワ。

káni anakne tane ku=kaeka kor k=an wa.  
私 は 今 私が糸をよる て 私がいる よ

「私は今、糸よりをしているよ。」

(3) サマケタ ヒナクン オツカイポ カ ア ワ アン。

samake ta hinak un okkaypo ka a wa an.  
そば に どの の 若者 も 座る て いる

「そばにどこかの若者も座っていた。」

単語

| アイヌ語          | 日本語訳    | 備考 |
|---------------|---------|----|
| アナクネ anakne   | ～は      |    |
| アン an         | ある、いる   |    |
| ウン un         | ～へ      |    |
| エ e=          | お前が、お前は |    |
| オツカイポ okkaypo | 若者      |    |
| カ ka          | ～も      |    |
| カエカ káeka     | 糸をよる    |    |
| カニ káni       | 私       |    |
| カラ kar        | する、作る   |    |
| ク k=          | 私が、私は   |    |
| ク ku=         | 私が、私は   |    |
| コロ kor        | ～て      |    |
| サマケ samake    | ～のそば    |    |
| シリ siri       | 有様、様子   |    |
| タ ta          | ～に      |    |
| タネ tane       | 今       |    |
| ヒナク hinak     | どこ      |    |
| ヘマンタ hemanta  | 何       |    |
| ワ wa          | ～て      |    |

解説

日本語の場合は、「仕事をしている」と言う時も「ている」を使いますし、「座っている」と言う時も「ている」という形を使います。しかし、アイヌ語では、これらに対してそれぞれ違う表現を使わなければなりません。すなわち、「仕事をしている」と言う時の「ている」には「コロ アン kor an」、「座っている」の「ている」には「ワ アン wa an」が使われます。これらの使い分けは、次のような原則に従います。動詞の意味する行為が、なんらかの変化を伴い、行為の後も、その変化の結果の状態が後に残っているような物である時は、「ワ アン wa an」を使います。

例えば、例文(3)の「ア a 座る」という行為は、座る前と座った後では、主語の状態に変化(姿勢の変化)が起こります。行為を行ったあと、「座る」という姿勢の状態が後に残るわけです。このような場合、「今、現に座っている」という意味を表したい時には、「ワ アン wa an」(～ている)を付けます。これに対して、動詞の意味する行為が主語の状態の変化を引き起こさないようなものである場合、「現に、今、その行為が行われている」ことを表すのに「コロ アン kor an」(～ている)という表現が使われます。どちらの表現の場合も、「アン an」(いる)は、主語の人称や数に一致した形を取ります。たとえば、例文(2)の「私が糸よりをしている」であれば、「私が糸よりをする」にはもちろん人称接辞が付いて、「クカエカ ku=kaeka」(私が糸よりをする)のようになりますが、後ろに付く「コロ アン kor an」(ている)の動詞も人称変化して、「コロ カン kor k=an」(て私がいる)となります。人称をうっかり落とさないように注意が必要です。

例題

日本語の意味を参考にして、空白に正しい形を入れなさい。

1) クカエカ  ワ。  
ku=kaeka  wa. 「私が糸よりをしているよ。」

2) ア  。  
a  . 「(彼が)座っている。」

今日のポイント



主語に状態の変化が起こる「ている」は「ワ アン wa an」、  
変化が起こらない行為の継続は「コロ アン kor an」で表される。

アイヌプリ⑰ ホリッパ

輪踊り。古式舞踊です。各地域では言い方も様々でリムセとも言われます。鶴川はとてもシンプルな踊りで、手を叩きながら円を描いて踊ります。

チカフ タ クネ レラ タ クネ

cikap ta ku=ne réra ta ku=ne

鳥こそ私だ 風にこそ私だ

鳥になれたら、風に今なれたらいいのに

キ ワ ネ ヤクネ

ki wa ne yakne

するてだ ~ならば

そうしたならば

トゥ コタン カマ

tu kotan kama

二つ 村 またいで

二つの村を渡って

レ コタン カマ

re kotan kama

三つ 村 またいで

三つの村を渡って

クキ ホプニ タパン テ オッタ

ku=ki hopuni tapan te otta

私ができる 飛ぶ この ことで

私はここから飛ぶ。今、ここで。

## 単語

| アイヌ語 | 日本語訳   | 備考   |
|------|--------|------|
| オッタ  | otta   | ~で   |
| カマ   | kama   | またいで |
| キ    | ki     | ~する  |
| ク    | ku=    | 私    |
| コタン  | kotan  | 村    |
| タ    | ta     | ~に   |
| タ    | ta     | ~こそ  |
| タパン  | tapan  | この   |
| チカフ  | cikap  | 鳥    |
| テ    | te     | ここ   |
| トゥ   | tu     | 二つの  |
| ネ    | ne     | ~である |
| ホプニ  | hopuni | 飛ぶ   |
| ヤクネ  | yakne  | ~ならば |
| レ    | re     | 三つの  |
| レラ   | réra   | 風    |
| ワ    | wa     | ~て   |

## MEMO

## アイヌ語⑩ ヤイサマ

ヤイサマはたくさん意味がある唄だと、おばあちゃんは言います。節が大事だそうです。節で楽しい気持ち(踊ってしまうほど)、悲しい気持ちが表れるそうです。

昔から伝わるものもありますが、おばあちゃんは、その時その時で唄うものなんだと言います。



例文

- (1) アプト apto 「雨」
- (2) カムイチェブ kamuy-cep 「サケ」
- (3) オッカヨポ okkayo-po 「若者」
- (4) トウイマル tuyma-ru 「女性のトイレ、大便所」
- (5) テクンペ tek-un-pe 「手甲」
- (6) アエブ a-e-p 「食物」
- (7) チロンヌブ ci-ronnu-p 「キツネ」

単語

| アイヌ語 |        | 日本語訳      | 備考 |
|------|--------|-----------|----|
| ア    | a=     | 人が        |    |
| アプト  | apto   | 雨         |    |
| ウン   | un     | ~にいる、~にある |    |
| エ    | e-     | ~で、~について  |    |
| オッカヨ | okkayo | 男         |    |
| カムイ  | kamuy  | 神         |    |
| チ    | ci-    | 人が        |    |
| チェブ  | cep    | 魚         |    |
| テク   | tek    | 手         |    |
| トウイマ | tuyma  | 遠い        |    |
| ブ    | p      | もの        |    |
| ペ    | pe     | もの        |    |
| ポ    | po     | 子供        |    |
| ル    | ru     | 道         |    |
| ロンヌ  | ronnu  | 殺す        |    |

解説

アイヌ語の名詞の構造について重要な点を簡単に説明します。まず、アイヌ語の名詞には分解しようとしても分解できないものがあります。例(1)のアプト apto は、少なくとも今の時点では、これ以上小さな要素に分解できない単語です。アイヌ語にはこのようなそれ以上分解できない名詞もよくありますが、それ以上によくみかけるタイプは、実は「名詞+名詞」に分解できるものです。例(2)の「カムイチェブ kamuy-cep サケ」、例(3)の「オッカヨポ okkayo-po 若者」などがこれにあたります。それぞれ、「カムイ kamuy 神、チェブ cep 魚」、「オッカヨ okkayo 男、ポ po 子供」のように分解できます。単語の成り立ちを知っていると、単語を覚える時に便利です。なお、名詞の中には、独立性が相対的に低いものもよくみられます。オッカヨポの「ポ」は「子供」という意味ですが、ここでは「子供」というもともとの意味が弱まって、「年が若い」ということを示す補助的な要素として使われている、といったほうがよいかもしれません。「名詞+名詞」タイプの単語のほかに、「動詞+名詞」タイプの名詞もあります。例(4)の「トウイマル tuyma-ru」は「遠い・道」という構造をしています。トウイマ tuyma「遠い」は意味は形容詞的ですが、アイヌ語では動詞として扱いますので、これも「動詞+名詞」タイプと言えます。また、このような例は、「道が・遠い」という「主語+動詞」という関係が成り立つという特徴を持っています。同じく、動詞を部品として含んでいる名詞でも、例(5)は少し違います。「テクンペ tek-un-pe 手・にある・もの」のように、「名詞+動詞+名詞」という形をしています。また、この例は、「目的語+動詞+名詞」のような関係になっているという特徴を持っています。

このタイプの名詞もアイヌ語にはよく見られます。また、例文(6)、(7)は、「アエブ a-e-p 人が・食べる・もの」、「チロンヌブ ci-ronnu-p人が・殺す・もの」のように、「主語+目的語+名詞」という関係を含んでいます。注意が必要なのは、「主語+目的語+名詞」というタイプの「主語」の役割を果たすものは、「ア a= 人が」、「チ ci- 人が」であることが大部分で、これらの代わりに例えば「アイヌ aynu 人間」のような独立性の高い名詞を使って、「アイヌエブ aynu-e-p 人間が・食べる・もの」というような「単語」を作るケースは、実はあまり多くないようです。どうしてかというと、「アイヌエブ aynu-e-p」は、もしあったとしたら、「人間を・食べる・もの」(化け物の一種?) という意味に誤解されてしまう危険性が高いので、あまり例がない、ということのようです。

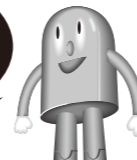
例題

ヒントと下の単語表を参考にアイヌ語の単語を当ててください。

- 1) 日本(ヒント:「和人・村」)
- 2) コブシ(ヒント:「おならをする・木」)
- 3) ヒシの実(ヒント:「水・上・にある・もの」)(母音の脱落に注意)

| アイヌ語 |       | 日本語訳              |
|------|-------|-------------------|
| ウン   | un    | ~にある              |
| オプケ  | opke  | おならをする            |
| カ    | ka    | 上                 |
| コタン  | kotan | 村                 |
| シサム  | sísam | 日本人(和人)           |
| ニ    | ni    | 木                 |
| ペ    | pe    | 水(ただし、独立的には使わない形) |
| ペ    | pe    | もの                |

今日のポイント



・アイヌ語の名詞で多い構造は「名詞+名詞」タイプ。  
・「動詞+主語」、「目的語+動詞+主語」というタイプが多い。「主語+動詞+目的語」というタイプは、主語に「ア a=、チ ci- 人が」が立つものがほとんど。

例 文

- (1) イルシカ i-ruska 「ものに・怒る。」
- (2) エイッカ e-ikka 「～で・物を盗む(～を盗む)」
- (3) オアラパ o-arpa 「～へ・行く」
- (4) コタタ ko-tata 「～で・細かく刻む」
- (5) ウエンテ wen-te 「悪く・させる(壊す、荒らす)」
- (6) シリピリカ sir-pirka 「天気・良い」
- (7) ケラアン kéra-an 「～の味・ある(おいしい)」
- (8) カエカ ká-eka 「糸・よる」
- (9) ムンコタタ mun-ko-tata 「ゴミ・と共に・細かく刻む」

単 語

| アイヌ語     | 日本語訳        | 備考 |
|----------|-------------|----|
| アラパ arpa | 行く          |    |
| アン an    | ある          |    |
| イ i-     | 不定のものを      |    |
| イッカ ikka | ものを盗む       |    |
| ウエン wen  | 悪い          |    |
| エ e-     | ～で、～について    |    |
| エカ eka   | 縫る(よる)      |    |
| オ o-     | ～へ          |    |
| カ ka     | 糸           |    |
| ケラ kéra  | ～の味         |    |
| コ ko-    | ～と共に        |    |
| シリ sir   | 天気、様子、周囲の状況 |    |

| アイヌ語      | 日本語訳    | 備考 |
|-----------|---------|----|
| タタ tata   | 細かく刻む   |    |
| テ -te     | ～させる    |    |
| ピリカ pirka | 良い      |    |
| ムン mun    | 草、ゴミ    |    |
| ルシカ ruska | ～に腹を立てる |    |

解 説

アイヌ語の動詞の構造は大変複雑ですが、ここでは簡単に説明します。アイヌ語の動詞にはそれ以上分解できないものもありますが、いくつかの部分に分解して考えることのできる場合も少なくありません。基本となる動詞に様々な補助要素が付いて、新たな単語が作られている場合が少なくありません。例えば、例(1)では、「ルシカ ruska ～に怒る、～に腹を立てる」という動詞に、「イ i- 不特定のもの」という要素をつけて、「むしゃくしゃする、腹を立てる」という動詞が作られています。目的語に相当する意味が、「i- ものに、ものを」という補助的な要素によって動詞の中に組み込まれているわけです。独立の名詞ではありませんが、既に「ものを」という目的語に当たる要素が付いているので、もとの動詞のルシカ ruska「～に怒る」は目的語を必要とする他動詞でしたが、できた動詞イルシカ i-ruska はそれ以上、目的語を取ることができない自動詞に変化しています。このように、新しい動詞を作る要素として、目的語の数を減らして自動詞化する働きをするものがあります。これに対して、例(2)、(3)、(4)の「エ e- ～で、オ o-～へ、コ ko- ～と共に」は、目的語を一つ増やす働きがあります。たとえば、例(2)の「イッカ ikka」は「物を盗む」という自動詞ですが、「エ e- ～で」を付けると、「エイッカ eikka ～を盗む」という他動詞になります。このように、新しい動詞を作る要素の中には動詞が取り得る目的語の数を増やして、自動詞を他動詞にするような働きをするものがあります。このような他動詞化を行うものとしては、動詞の後ろに付くものもあります。例(5)は、「ウエン wen 悪い」に「テ -te」を付けると、「～を悪く・させる」という意味になり、目的語を取る他動詞になることを示しています。

ここまで説明してきたのは、独立性がない補助的な要素でしたが、やや特殊なものとしては、本来、独立の単語であるものを動詞の中に組み込んで新しい語を作るというタイプがあります。例(6)は、sir「天気」という、主語に当たるものが「ピリカ pirka 良い」という自動詞に合体されたものです。例(7)でも「ケラ kéra ～の味」という主語が「アン an ある」という自動詞と合体されています。このような、「主語＋自動詞」タイプの動詞は、取り込まれる名詞が自然現象や身体部位に限られていて、比較の数も少ないです。これに対して例(8)の「カエカ ká-eka」では、「カ ka 糸」という目的語が「エカ eka 縫る、糸を作る」という他動詞と合体して、全体として「糸をよる」という自動詞になっています。この、「目的語＋他動詞」タイプの動詞はアイヌ語に非常によくみられ、重要度が高いものです。なお、これまで説明した要素が組み合わさって長い語が作られることもよくあります。例(9)は、「タタ tata」に「コ ko- 共に」が付いて「～と共に細かく刻む」という動詞が作られ、さらに「ムン mun ゴミ」という目的語が合体して、「ムンコタタ mun-ko-tata ゴミと一緒に切り刻む」という動詞が作られています。

例 題

ヒントを参考に次の単語の意味を推定しなさい。

- 1) エラムアン e-ramu-an(ラム ramu ～の心)
- 2) トイコタタ toy-ko-tata(トイ toy 土)
- 3) ホツケレ hotke-re(ホツケ hotke 横になる、レ -re ～させる)

例 文

(1) イルシカ ネ マヌ プ アキ ワ クス  
iruska ne manu p a=ki wa kusu  
怒り である という もの 私がする て そのために

Chorawki=an ヒネ アラパアン キ ワ  
corawki=an hine arpa=an ki wa  
私は攻撃する て 私は行く する て **「私は激怒したので、攻めて行って」**

(2) メノコ チロンヌブ イワン チロンヌブ  
menoko cironnup iwan cironnup  
女 キツネ 六匹の キツネ

アトイコタタ アムンコタタ  
a=toykotata a=munkotata  
私は土と切り刻む 私はゴミと切り刻む **「女ギツネ、六匹のキツネを私は土やゴミと共に切り刻んだ」**

(3) アエコテ ニシパ アセ キ ワ  
a=ekote nispa a=se ki wa  
私の 夫 私が背負う する て

ヘパシ カ ヘレパシ カ  
hepasi ka herepasi ka  
川下へ も 川の中央へ も

アウォロコイキ  
a=worokoyki  
私が水責めにする **「私の夫を背負って川下へも川の深みへも私は水責めにした」**

単 語

| アイヌ語             | 日本語訳            | アイヌ語            | 日本語訳      |
|------------------|-----------------|-----------------|-----------|
| ア a=             | 私が、私は、私たちが、私たちは | チロンヌブ cironnup  | キツネ       |
| アラパ arpa         | 行く              | トイコタタ toykotata | 土と共に切り刻む  |
| アン =an           | 私が、私は、私たちが、私たちは | ニシパ nispa       | 夫、旦那      |
| イルシカ iruska      | 怒る              | ネ ne            | ～である      |
| イワン iwan         | 六つの             | ヒネ hine         | ～て        |
| ウォロコイキ worokoyki | 水責めする           | プ p             | もの        |
| エコテ ekote        | 夫婦になる           | ヘパシ hepasi      | 川下へ       |
| カ ka             | ～も              | ヘレパシ herepasi   | 沖へ        |
| キ ki             | する              | マヌ manu         | ～という      |
| クス kusu          | ～ので、そのために       | ムンコタタ munkotata | ゴミと共に切り刻む |
| セ se             | 背負う             | メノコ menoko      | 女         |
| Chorawki corawki | 攻撃する            | ワ wa            | ～て        |

解 説

既に「火の神の神謡(カムイユカラ kamuyyukar)」を通してアイヌ口承文芸がどういうものであるかはよくご存じだと思います。ここでは、口承文芸の言語について、少し解説したいと思います。

口承文芸で使われる言語を「雅語(がご)」と言います。日常の表現と全く違うわけではありませんが、いくつかの点で目立つ違いがあるので、それらの点については知っておく必要があります。

例にあげた火の神の神謡を見てすぐ気づくのは、「私が」という意味を表す人称接辞の違いです。例文(1)-(3)を見てわかるように、他動詞には「ア a=」、自動詞には「アン =an」が付いて、「私が、私は」という意味を表しています(複数の意味にもなる)。これらの形は、日常語では、「包括的一人称複数主格」で、「私たちが、私たちみんなが」という意味を表すものです。日常語では複数の意味を表すものが、雅語では単数の意味で用いられる、ということになります。その理由についてはいろいろな考えがありますが、十分なものはまだないようです。たとえば、日本語の「私、ぼく」に対する、「我、わし」のようなもの、という説明がよくなされますがこれだとゆれがなく一貫して同じ形が使われる、という事実をうまく説明できません。また、二人称は口語と全く同じで一人称だけが違う、という点とも合わないようです。理由はともかく、「雅語では、日常語の包括的一人称複数の形が単数の意味で使われる」ということを心に留めておいて下さい。また、単純に口語の「ク ku- 私が、私は」を「ア a=、アン =an」に置き換えただけでは不十分だ、という点も重要です。例文(1)の「アラパアン arpa=an 私が行く」という形は、「アン =an」が複数の意味でしか用いられない口語では現れない形です。雅語の場合、「アン =an」が単数の意味ならば動詞も、単複の区別のあるものでは、単数形を選ばなければなりません。

口語と雅語とでは表現面でも違いがあります。例文(2)の「アトイコタタ、アムンコタタ」のように意味的にペアになるような言葉を並べる「対句」という文学的な表現がよく用いられます。また、例文(1)の「イルシカ ネ マヌ プ アキ iruska ne manu p a=ki」は、「怒りというものを私はした」という意味ですが、口語だと、「私は怒った」と一言で言ってしまうところ。こういう、遠回しの表現が雅語ではよく使われます。このような表現方法は「婉曲表現」と呼ばれるものです。また、日常語ではあまり見かけない、長い難しい単語をよく使うのも特徴です。例文(3)の「ウォロコイキ wor-o-koyki」は、「水・で・いじめる」という意味ですが、雅語的な、重々しいニュアンスを出すために使われる特殊な単語の例と言えます。

例 題

次の文の人称を日常語の人称に変えなさい。

アコロ ポン ヌプリ オルン インカラアン  
a=kor pon nupuri or un inkar=an  
**「私の小さな山のほうを私は見た。」**

**今日のポイント**

- ・「ア a=、アン =an」が「私が、私は」という単数の意味で使われる。
- ・「アン =an」が単数の「私が、私は」という意味の場合、動詞は単数形になるのが原則。





ク ユポ トノ

ku=yupo tóno

私の兄 様

**私の愛しい人**

マカン エヤイヌ クヤイヌ キ コロ

makan e=yaynu ku=yaynu ki kor

どのように あなたが思う 私が思う する ながら

**あなたはどのように思っているのか、(私)思いながら**

トゥ ペケン ヌペ レ ペケン ヌペ

tu peken núpe re peken núpe

二つの 透明な 涙 三つの 透明な 涙

**二つぶの涙、三つぶの涙を**

クヤイコランケ

ku=yaykoranke

私が自分で落とす

**私は流している。**

\* ホレンナ ホレ ホレンナ ホレ

horena hore horena hore

(お囃子)

単語

| アイヌ語   | 日本語訳                           |
|--------|--------------------------------|
| エ      | e= お前が                         |
| キ      | ki ~する                         |
| ク      | ku= 私                          |
| コロ     | kor ~しながら                      |
| トゥ     | tu 二つの                         |
| トノ     | tóno 殿様 旦那様                    |
| ヌペ     | núpe 涙                         |
| ペケン    | peken 透明な(nの前でのペケレ peker の交替形) |
| マカン    | makan どのように                    |
| ヤイコランケ | yaykoranke 一人で落とす・降らす          |
| ヤイヌ    | yaynu 思う                       |
| ユポ     | yúpo 兄                         |
| レ      | re 三つの                         |

MEMO

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

アイヌプリ⑩ フチ イタク

私たちがおばあちゃんとお話をしているときに、喉がグーっと鳴ったとき、おばあちゃんに「お酒を飲みたいのかい?」と聞かれました。

喉が鳴ったらお酒が飲める。という、ことわざがあるのです。



# アイヌ語ラジオ講座収録テープ及びミニディスク(MD)の貸出しについて

## 1.利用時間

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構:午前9時～午後5時(月～金)  
アイヌ文化交流センター:午前10時～午後6時

## 2.休業日

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構:土・日曜日、祝日、年末・年始(12月29日～1月3日)  
アイヌ文化交流センター:月・日曜日、祝日の翌日、年末・年始(12月29日～1月3日)

## 3.申込手続から受取

裏面の申込用紙を当財団またはアイヌ文化交流センター事務局に提出いただき、手続が完了しましたら、収録テープ等をお送りします。

また、送料は利用者負担としておりますので、送料分の切手を同封いただくか、または料金着払いにてお送りします。なお、切手を同封される場合には料金を下記までお問い合わせください。

## 4.期 間

申込みの日から14日以内に返却してください。

## 5.お問合せ先

### (財)アイヌ文化振興・研究推進機構

〒060-0001  
北海道札幌市中央区北1条西7丁目  
プレスト1・7(5階)  
TEL.(011)271-4171 FAX.(011)271-4181  
e-mail: ainu@frpac.or.jp

### アイヌ文化交流センター

〒104-0028  
東京都中央区八重洲2丁目4番13号  
アーバンスクエア八重洲(3階)  
TEL.(03)3245-9831 FAX.(03)3510-2155  
e-mail: acc-tokyo@frpac.or.jp

## アイヌ語ラジオ講座収録テープ・ミニディスク(MD)の貸出申込用紙

|       |        |     |      |     |      |    |   |   |   |
|-------|--------|-----|------|-----|------|----|---|---|---|
| *申込番号 |        |     |      |     | 申込日  | 平成 | 年   | 月 | 日 |
| *返却期日 | 平成     | 年   | 月    | 日   | *返却日 | 平成 | 年   | 月 | 日 |
| 住所    | 〒      |     |      |     | 氏名   |    |   |   |   |
| 年齢    | 才      | 性別  | 男・女  | 職業  |      |    |   |   |   |
| 連絡先   | 電話:    |     | FAX: |     |      |    |   |   |   |
|       | 電子メール: |     |      |     |      |    |   |   |   |
| 希望教室  | 平成10年度 | 札幌  | 千歳   | 平取  | 旭川   | 種類 | ・カセットテープ<br>・ミニディスク(MD)<br><br>○で囲んでください。 |   |   |
|       | 平成11年度 | 白老  | 釧路   | 登別  | 静内   |    |   |   |   |
|       | 平成12年度 | 白糠  | 浦河   | 鶴川  | 帯広   |    |   |   |   |
|       | 平成13年度 | 白老① | 白老②  | 登別① | 登別②  |    |   |   |   |
|       | 平成14年度 | 白糠① | 白糠②  | 鶴川① | 鶴川②  |    |   |   |   |
|       | 平成15年度 | 平取① | 平取②  | 平取③ | 平取④  |    |   |   |   |
|       | 平成16年度 | 旭川① | 旭川②  | 旭川③ | 旭川④  |    |   |   |   |
|       | 平成17年度 | 静内① | 静内②  | 静内③ | 静内④  |    |   |   |   |
|       | 平成18年度 | 様似① | 様似②  | 様似③ | 様似④  |    |   |   |   |
|       | 平成19年度 | 平取① | 平取②  | 平取③ | 平取④  |    |   |   |   |
|       | 平成20年度 | 旭川① | 旭川②  | 旭川③ | 旭川④  |    |   |   |   |
|       | 平成21年度 | 静内① | 静内②  | 静内③ | 静内④  |    |   |   |   |
|       | 平成22年度 | 白老① | 白老②  | 白老③ | 白老④  |    |   |   |   |
|       | 平成23年度 | 旭川① | 旭川②  | 旭川③ | 旭川④  |    |   |   |   |
|       | 平成24年度 | 鶴川① | 鶴川②  | 鶴川③ |      |    |   |   |   |
|       | 特記事項   |     |      |     |      |    |   |   |   |

注1 \*印の箇所は記入しないでください。 注2 団体による申込みの場合には、代表者の氏名、住所等を記入してください。

## リスナーのみなさまへ

「アイヌ語ラジオ講座」をお聴きいただきありがとうございます。

この講座は、初心者向けのアイヌ語やアイヌ文化講座として放送しています。この講座の必要性やあり方などを検討するにあたり、みなさまのご意見、ご感想などをお聞きするものです。下記の質問について、該当の番号を○で囲み、その他のご意見などをご記入の上、お送りください。

のりしろ

※キリトリ線を切り取って、封筒にしてご郵送ください。  
※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせてください。

アイヌ語ラジオ講座アンケート (年齢 才 男・女)

**I この講座についてお尋ねします。**

問1 この講座をなにで知りましたか。  
①ラジオ ②新聞 ③ホームページ ④ポスター・チラシ ⑤アイヌ語教室 ⑥その他( )

問2 この講座を何回くらい聴いていますか。  
①月に1回 ②月に2～3回 ③毎週 ④その他( )

問3 この講座をいつ・どのような方法で聴いていますか。  
①日曜日の本放送 ②土曜日の再放送 ③放送を録音して ④ホームページ ⑤貸出しテープ・MD

問4 この講座の放送時間(15分間)について、どう思われますか。  
①もっと短く( 分位) ②このままで良い ③もっと長く( 分位)

問5 この講座の内容について、どう思われますか。  
ア)「アイヌ語の例文紹介」について  
①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい( )  
イ)「アイヌ語の解説」について  
①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい( )  
ウ)「アイヌ文化の紹介」について  
①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい( )

問6 テキストの内容について、どう思われますか。  
①もっと易しく ②このままで良い ③もっと詳しく( )

**II これからの講座のあり方についてお尋ねします。**

問7 この講座をラジオで放送することについて、どう思われますか。  
①続けてほしい ②どちらとも言えない ③やめても良い

問8 現在の内容のほか、どのような話を聞きたいですか。  
①アイヌ語を学びきっかけなどの体験談 ②アイヌ文化に関わる体験談 ③地域のアイヌ語・文化に関わる活動の紹介  
④その他( )

問9 「アイヌ文化の紹介」で取りあげてほしいテーマはありますか。  
①ある a地名 b歴史 c歌・踊り d口承文芸 e儀礼 f工芸 gその他( ) ②ない

**Ⅲ その他のご意見があればお聞かせください。**

のりしろ

※キリトリ線を切り取って、封筒にしてお送りください。  
※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせ  
てください。

(キリトリ)

(キリトリ)



料金受取人払郵便

札幌支店  
承認

302

差出有効期限  
平成26年3月  
31日まで  
●切手不要

0608788

札幌市中央区北二条西七丁目プレスト1・7 5階

財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

総務課  
行



(キリトリ)

キリトリ線

(キリトリ)

はじめに

アイヌ語はアイヌの人たちの独自の言葉で、身近に触れているものとして地名があります。アイヌ語の地名は北海道をはじめ、サハリンや千島列島、それに東北地方にも残されています。地名の他にも「エトピリカ」や「ラッコ」、「トナカイ」などアイヌ語と意識されずに使われている言葉があります。

また、アイヌの人たちはユカラをはじめとする多くの優れた口承文芸を伝えてきました。語り継がれてきた物語の中には、自然の中で生きていく知恵や自然との折り合いの付け方などが盛り込まれていることも多く、話を聞くことで、さまざまなことを学べるようになっていきます。

現在では、アイヌ語が日常会話の言葉として使われることはほとんどありませんが、祖先から伝えられた言葉を多くの人たちが話せるようになるよう、いろいろな活動が行われています。

この「アイヌ語ラジオ講座」は、初心者向けのやさしいアイヌ語講座をラジオで放送し、多くの人たちにアイヌ語に触れ、学習する機会を提供するため平成10年から開設しているものです。

平成24年度は4月からの1年間、むかわ町出身の押野朱美さん、里架さんをお迎えし、アイヌ語講座を開設してまいります。

どうぞ、アイヌ語に触れてみてください。

平成25年1月

## 「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.4 目次

テキストは3か月ごとに発行しています。

|                            |      |
|----------------------------|------|
| ○ 講師等の紹介                   | 2    |
| ○ 講座のスケジュール                | 3    |
| ○ テキスト LESSON 41～LESSON 53 | 4～29 |
| ○ 収録テープ等の貸出しについて           | 30   |
| ○ アンケート                    | 31   |

## 会員募集のお知らせ

### 『賛助会員』を募集しています。

国及び北海道からの財政的な支援を受けて、各種事業を実施していますが、多様な事業の展開を目指し、事業を充実させていくためには自主運営基盤の確立が重要です。このため、全国の個人、団体や企業の方々から、幅広くご理解、ご支援をいただくことが大切であると考え、財団の設立目的にご賛同下さる方々を賛助会員として募集しています。

#### 年会費

- 法人・団体／一口 2万円
  - 個人／一口 5千円
- ※各一口以上です。

#### 会員特典

- 財団発行の刊行物等の無料配布
  - 財団主催の展示会等の行事の案内や情報の提供などがあります。
- 入会には、申込書が必要ですので、希望される方は、財団本部(札幌)又はアイヌ文化交流センター(東京)にお問い合わせ下さい。

#### 会費の用途

- 講演会の開催、アイヌ文化等に関する書籍等のライブラリーの整備などの自主事業の充実のために充てられます。

## 平成24年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.4

発行年月 平成25年1月  
編集・発行 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構